

# 看護相談外来

## 看護相談外来とは

病気と向き合いながら生活をされている方や病気を患っている患者さまのご家族の皆様に対して、特定の専門領域に特化した看護師が療養生活に必要な知識・技術をお伝えし、相談相手となり支援していくものです。

## 専門看護師 認定看護師紹介

がん看護専門看護師 島 千世

- がんとがんの治療に伴う問題などについてのご相談

皮膚・排泄ケア認定看護師  
須山 真見 白石 真里

- 人工膀胱、人工肛門、床ずれ、傷、足のケアなどについてのご相談

透析看護認定看護師  
篠原 謙太 引地 由実子

- 腎臓病、糖尿病、高血圧などのついでのご相談

摂食・嚥下障害看護認定看護師  
湯浅 愛

- 飲み込みや口から食べることなどについてのご相談

感染管理認定看護師  
篠原 久恵

- 感染症や感染予防などについてのご相談

## 看護相談外来日

看護相談外来は毎月 **第1・3週 火曜日、木曜日**の13:00～16:00に実施します。

- 予約制とさせていただきます。
- 当院に通院されていなくても構いません。

## 予約方法



安芸市民病院  
地域連携室(直通)  
(082)827-0123

時間 8:30~17:30

休日 水・日曜日、祝日

診察時に主治医に  
『看護相談外来を受けたい』  
とお伝えください。



地域連携室スタッフに  
直接お申し付けください。

## 感染管理認定看護師

当院には感染対策などの専門的知識・技術を学んだ感染管理認定看護師がいます。看護相談外来では、感染管理認定看護師が感染防止の方法や疑問についてお答えします。

- 吸引などの処置をする場合の感染対策は？
- 尿道留置カテーテルを使用されている場合の感染対策は？
- 傷・褥瘡などのある場合の感染対策は？

など、感染防止についての疑問、感染対策の方法についてわからない点など看護相談外来で気楽にご相談ください。



篠原 久恵

## がん看護専門看護師

がんの診断を受けた患者様とご家族が抱えておられる、がんの症状（痛み、息苦しさ、身体のだるさ、不眠など）やがんの治療に伴う症状（吐き気、食欲不振、下痢、便秘など）、不安や悩み、問題などに対する御相談をお受けいたします。

身体の問題だけでなく、心の問題、経済的な問題、治療の選択や治療場所・療養場所の選択などのご相談もお受け致します。

必要ならば、医師や薬剤師、相談員などとも協力してご相談に応じます。

また、ご家族や介護・看護を担当されている方々の抱えておられる、介護・看護の問題にもご相談に応じます。

日常生活を送る上で困っていることをご相談ください。

患者様・ご家族と一緒に考えていきたいと思っています。



島 千世

## 透析看護認定看護師

職場の検診や病院の医師から「血圧が高いですね」「尿にタンパクが出ていますね」「血糖値が高めですね」と言われたことはありませんか？「血圧が高いから気をつけてね」などと言われて何に気をつければいいのかわからないことはありませんか？

私達透析看護認定看護師は、生活習慣病の中でも慢性腎臓病を専門にしている看護師です。慢性腎臓病は、腎臓自体の病気だけではなく、高血圧や糖尿病、メタボリックシンドロームなどが原因となることもあります。慢性腎臓病、さらには人工透析にならないよう（遅らせるよう）にするには日頃からの自己管理が必要となります。

私達は自宅で腎臓の働きを守れるような生活ができるようにお手伝いします。必要時には医師、管理栄養士と連携をとりながらチームでサポートしていきます。



篠原 謙太



引地 由実子

## 皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師とは①創傷ケア②ストーマ（人工肛門・人工膀胱）ケア③失禁ケアの3つの役割があります。

創傷とはいわゆる床ずれや、足の傷、胃ろうなどの管理、手術創などあらゆる傷に対して自然治癒を促す看護を行うことです。

ストーマケアとはストーマ（人工肛門・人工膀胱）に関する問題に対し解決できるよう看護を行うことです。

失禁ケアとは、排泄に関わる問題に対しての指導や失禁に伴う皮膚障害の改善と予防を行うことです。

これらの問題に対し一緒に考えていきたいと思っていますので、お困りのことがあればご相談ください。



須山 真見



白石 真里

## 摂食・嚥下看護認定看護師

口から安全においしく食べることをスローガンに掲げ、入院中の患者様を対象に、嚥下訓練や食事介助、病棟スタッフやご家族への指導を行ってきました。今回、看護相談外来が発足し外来を受診される方で「口から食べる」ことについて困っている方や、安全に食べる方法、在宅でも可能な嚥下訓練など、「食べる」ことに関しての相談に対応していきたいと考えています。また受診された方の嚥下評価を行い、その方に適した嚥下訓練を実施、在宅でも継続できるよう支援していきます。「食べる」ことに関して相談がありましたら、看護相談外来に是非お越しください。



湯浅 愛